

車両規則

①使用車両は、(株)ホンダ・レーシング(HRC)より販売されるNSF250R市販モデルのみとする。

②マシンはノーマル状態を基本とし、改造、変更を不可とする。

③但し以下のものは変更を認める。

■FIセッティングツールによるマップ

■ファイナルスプロケット、チェーン(チェーンサイズの変更は不可)

モーターサイクル専用ドライブチェーンに限る。

■スパークプラグ(プラグキヤップ、コードの変更は不可)

■トランスミッションギア(HRC販売の純正オプション品に限る)

■タイヤ(溝きり、カッティング等の加工は不可)※詳細は各主催者の判断に従うものとする。

■ブレーキパッド

■シートラバー

■エンジンオイル

■フロントフォークオイル

■ブレーキフルード

■ステッププレート&バー

■リアブレーキトルクロッド変更に伴う取り付け方法及びリヤキャリパーブラケット

■チェンジペダル/リアブレーキペダル

■ブレーキレバー、クラッチレバー(レバープロテクション)

ブレーキレバープロテクションの装着は義務とする。

■ハンドルバー/ハンドルホルダ/ハンドルグリップ

■ステアリングダンパー

■アッパー/アンダー/シートカウル/フェンダー、スクリーン(同材質で同形状のものに限る。)

■リアセーフティーライトの装着(詳細はMFJ国内競技規則に準ずる)

ワイヤーハーネスから電源を供給する場合は、チェックカプラーからの電源供給のみ認める。

チェックカプラーからセーフティーライトの間には、ヒューズ(5A程度)の設置を推奨する。

ワイヤーハーネスの改修は認めない。

シートカウルにリアセーフティーライトを取り付けるための加工を認める。

■リアフェンダー(カウリングと同材質のものに限る)。容易に脱落しないように取り付けること。

■ホイールのエアバルブは、スタンダードまたはストレート形状のゴムバルブへの交換を認める。

バルブキヤップの交換も認める。ただし安易に脱落しない物に限る。

■前後サスペンションスプリング

■タコメーター(右記部品のみ使用可 : 37250-NF4-771 / 37250-NX4-731 / 37250-NX7-003)

(タコメーター交換に伴う関連部品(スティ・ハーネス等)の交換可)

■ECU

主催者側から指示があった場合、その車両に装着されているECUを他のECUに交換しなければならない。

■水温計(関連部品)

■自動ラップ計時デバイス(P-LAP等)

■データロガー(データ収集器、コンピューター記録装置など)の使用を認める。

・純正エキパイへのAFセンサーの取り付けを認める。

・ロギング可能項目はAF/サスストローク/ENG回転数/スロットル開度に限定される。

■テレメトリー

動いているモーターサイクルへ情報を伝える、または動いているモーターサイクルから情報を得る事は禁止。

■ブレーキキャリパーボルト

ブレーキキャリパーボルト脱落防止のためのワイヤーロックを目的としてキャリパーボルトへの穴あけが認められる。

■ボルト、ナット類(材質の変更不可)

■クイックシフター

■転倒ダメージ軽減の為のプロテクター類(素材は自由)

④キルスイッチ

キルスイッチは他のスイッチ類と明確に区別できるように、キルスイッチのみ赤色にしなければならない。

⑤フレーム及びエンジンクランクケースを交換した場合は、刻印(フレームNo.及びエンジンNo.)無しの状態で

販売証明の提示または、交換前の刻印のあるフレーム及びクランクケースを車検にて提示しなければならない。

⑥使用するタイヤは、HRCが指定したワンメイクタイヤ(ドライ、ウェット)のみ使用することができる。

ドライ用 DUNLOP SPORTMAX SLICK (S-SLK)

フロント 90/80R17 S-SLK (SOFT/MED/HARD)コンパウンド

リア 115/70R17 S-SLK (SOFT/MED/HARD)コンパウンド

※タイヤサイズ表記が変わりましたが、実際のサイズは変わりません。

ウェット用 DUNLOP RACING KR189/KR389

フロント 95/70R17 KR189 (WC) コンパウンド

リア 115/70R17 KR389 (WC) コンパウンド

⑦DUNLOPステッカー貼付義務

全ての参加車両は、DUNLOPタイヤサービスにて配布のステッカーを主催者指定箇所に貼付しなければならない。(走行中剥がれた場合も含め、貼付が無い車両は失格となる)

同業他社名、同業他社の商品名等のステッカー貼付及び広告行為は認められない。

※ステッカーは指定されたもので、汚れや傷のないこと。

⑧表彰式登壇時にダンロップの帽子を配られた場合、キャップの着用が義務づけられる。

その場合、他のキャップを被る事ができない。

※上記以外は、「2026 MFJ国内競技規則 付則7 GPフォーミュラ技術仕様」に準ずる。